

令和3年度 すこやかメールマガジン 第760号【読書週間に読書習慣のススメ】10月28日配信

みなさんこんにちは。県立生涯学習推進センターメルマガ担当です。

生涯学習推進センターに勤務するようになってから、通勤途中の車内で毎朝、ラジオを聞くようになりました。昨日10月27日（水）は、読書週間が話題になっていました。

第1回の読書週間が開催されたのは、終戦まもない1947（昭和22）年だそうです。「読書のおかげによって、平和な文化国家を作ろう」という志のもと、出版社や書店、公共図書館を中心に、新聞社や放送局なども協力して行われたそうです。期間は11月17日～23日の1週間。第1回の読書週間が大反響を呼んだため、翌1948（昭和23）年の第2回からは、文化の日（11月3日）を中心にした10月27日～11月9日の2週間で、今に至るまで変わっていません。読書週間にそのような志があったとは知らずに、学校現場にいた時には、「読書祭り」に盛り上がっていました。

読書活動に関することとその影響について、今年の8月11日に国立青少年教育振興機構青少年教育研究センターの調査結果が発表されました。子どもの頃の読み聞かせや読書活動の実態、読書活動が大人になった現在の意識・非認知能力に与える影響、それに読書活動を形成する要因を検証したものです。調査結果のポイントは、次の5点です。

- ① 子どもの頃の読書量が多い人は、意識・非認知能力と認知機能が高い傾向がある。
- ② 興味・関心にあわせた読書経験が多い人ほど、小中高を通じた読書量が多い傾向にある。
- ③ 年代に関係なく、本（紙媒体）を読まない人が増えている（平成25年と平成30年を比較して）。
- ④ 一方で、スマートフォンやタブレットなどのスマートデバイスを使った読書は増えている。
- ⑤ 読書のツールに関係なく、読書している人はしていない人よりも意識・非認知能力が高い傾向があるが、本（紙媒体）で読書している人の意識・非認知能力は最も高い傾向がある。

※詳しくご覧になりたい方はこちらからどうぞ

<https://www.niye.go.jp/kanri/upload/editor/155/File/gaiyou.pdf>

※「非認知能力」とは、このようなものです（岩手県医師会）

<http://www.iwate.med.or.jp/pdf/Non-cognitive-ability.pdf>

非認知能力にも影響を与える「読書」の力、恐るべし！！

さあ、読書の秋到来！！読書週間を機に読書習慣を身に付ける第1歩を踏み出してみませんか。

☆子育てに関する悩みを一緒に考えます☆

子育て電話相談「すこやかダイヤル」 0198-27-2134

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^\_^)/

[kosodatem@pref.iwate.jp](mailto:kosodatem@pref.iwate.jp)

★=====★

【発行・文責】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】 <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/manabinetiwate/>

【Twitter】 <https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★